

各 位

2020年9月30日

SBIホールディングス株式会社
SBIインベストメント株式会社

ディップ株式会社とのコーポレートベンチャーキャピタルファンドの 設立に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:北尾 吉孝)の100%子会社であるSBIインベストメント株式会社(本社:東京都港区、代表取締役執行役員社長:川島 克哉、以下「SBI インベストメント」)は、ディップ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:富田 英揮、以下「ディップ」)と、ディップの既存事業分野および新規分野において事業シナジーが見込まれる国内外の有望なベンチャー企業を主な投資対象とするCVC(コーポレートベンチャーキャピタル)ファンド「DIP Labor Force Solution Fund」を設立いたしましたのでお知らせいたします。

ディップは、アルバイト・パートの求人情報サイト「バイトル」、正社員・契約社員求人情報サイト「バイトルNEXT」、総合求人情報サイト「はたらこねっと」、及び看護師転職サービス「ナースではたらこ」などを中心とした求職者と求人企業双方にとって利便性の高いサービス事業を展開しております。企業理念「私たち dip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」のもと、“Labor force solution company”というビジョンを掲げ、従来から提供している人材サービスに加えて、AI・RPA等のテクノロジーを活用したサービスを提供することにより、「労働力の総合商社」として、労働力の諸問題の改善や一人ひとりが生き生きと働くことができる環境の構築を図っております。

さらにディップは成長商品・成長事業を創出する取り組みの一環として、同社事業とのシナジーが見込まれるベンチャー企業への投資を実施しており、こうした取り組みによる成長をより一層進めるため、投資プロセスのさらなる強化・高度化を図るべく、このたびCVCファンドを設立いたしました。

SBIインベストメントはSBIグループのアセットマネジメント事業における中核的企業であり、「新産業クリエーター」として、AI、ブロックチェーン、フィンテック、IT、バイオ・ライフサイエンス・ヘルスケア、環境エネルギー分野等の次世代の成長分野のベンチャー企業に投資を行っています。

昨今は事業会社がCVCファンドを立ち上げ、事業シナジーが期待できるベンチャー企業への投資を通じて、新事業の育成を図る動きが活発化しており、ベンチャーキャピタルに求められる役割も多様化してきております。SBIインベストメントはこれまでに培ったベンチャー企業育成の知見を活かし、事業会社とベンチャー企業の連携を通じたイノベーション創出を支援するとともに、21世紀の中核的産業の創造及び育成を推進してまいります。

【新ファンドの概要】

ファンド名	DIP Labor Force Solution Fund (名称:「DIP Labor Force Solution 投資事業有限責任組合」)
運用期間	10年
規模	90億円
運営会社	SBI インベストメント株式会社
投資対象	ディップの既存事業分野および新規分野において事業シナジーが見込まれる国内外のベンチャー企業

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先:

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126